



2018



CHARTERED SEPT. 11, 1953

Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO YAMATE

YAMATE YMCA, 2-18-12, NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO TEL. 03-3202-0321 FAX.03-3202-0329

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-18-12 山手YMCA内

2018 - 19 会長主題

地元とつながろう

あずさ部長	廣瀬 健 (甲府 21)	「未来はそれに備える人のものである」
東日本区理事	宮内友弥 (東京武蔵野多摩)	「為せば、成る」
アジア太平洋地域会長	田中博之 (東京多摩みなみ)	“ Action ”
国際会長	Moon Sang Bong (韓国)	“ Yes, we can change ” 「私たちは変えられる」

会長 浅羽俊一郎 / 副会長 尾内昌吉 / 書記 尾内昌吉 / 会計 中村孝誠
 直前会長 上妻英夫 / ブリテン 功能文夫 / 担当主事 星住秀一

2018年10月例会
 < EMC/E, YES の月 >

と き **10月16日(火) 14:30-16:30**
 と ころ **早稲田奉仕園 102号室**
 新宿区西早稲田2-3-1
 TEL 03-3205-5411
 地下鉄東西線「早稲田」駅から徒歩5分

受付	尾内さん・功能さん
司会	増野さん
開会点鐘	浅羽会長
モットー・ワイズソング	一同
聖句朗読・祈祷	増野さん
ゲスト・ビジター紹介	会長
ハッピーバースデー	
話し合い	
「これからの山手クラブを考える」	一同
ニコニコ	一同
報告・連絡事項	各担当
閉会点鐘	会長

ワイズメンズクラブ モットー

『 強い義務感をもとう
 義務はすべての権利に伴う 』

“ To acknowledge the duty
 that accompanies every right ”

今月の聖句

あなたがたの集まりに、金の指輪をはめた立派な身なりの人が入って来、また、汚らしい服装の貧しい人も入って来るとします。その立派な身なりの人に特別に目を留めて、「あなたはこちらの席にお掛けください」と言い、貧しい人には、「あなたは、そこに立っているか、わたしの足もとに座るかしていなさい」と言うなら、あなたがたは、自分たちの中で差別をし、誤った考えに基づいて判断を下したことになるのではありませんか。

ヤコブの手紙2章2～4節

10月 HAPPY BIRTHDAY

飯野毅与志さん 5日

9月報告

会員在籍数		13名
例会出席者	メ ン	8名
	メ ネット	1名
会員出席率		62%
ゲスト・ビジター		10名
		合計 18名
ニコニコ	一 円 (累計 4,000円)	
B F 国内切手	— g	外国切手 — g

会費の納入は、会計(中村君)への納入または下記銀行口座への振込みをお願いします。

三菱 UFJ 銀行 高田馬場駅前支店
普通 3548431 「東京山手ワイズメンズクラブ」



9月東京山手・東京たんぽぽ合同例会報告

とき：9月18日（火）18：30～20：30

ところ：東京YMCA本部事務所 会議室
（新宿区西早稲田、日本キリスト教会館6階）

当夜は部長公式訪問の例会であった。

出席者：（敬称略）

山手クラブ、浅羽会長、上妻、飯島、飯島（愛）

飯野、尾内、尾内（規）、中村、8名

たんぽぽクラブ、越智会長、小原、服部、藤江、
小畑 5名

ゲスト 広瀬健（あずさ部長、甲府21）、

広瀬まさみ（メネット）、

菰刈EMC主査（サンライズ）、

小口ユース主査（八王子）、

関喜一郎（石巻広域） 5名

合計 18名

部長の公式訪問挨拶に続いて、EMCの問題が区、部の喫緊の課題になっていることを受けて、「EMC一部長と語り合おう」というテーマで話し合いをもった。

廣瀬部長は、ワイズは男のイメージが強いが、今は女性の時代なので女性会員を増やしたい。そのためには女性が楽しめるプログラムをもっと増やしたらよいのではと提案された。

そしてご自身のワイズ歴が短いことを断られた



がら、甲府21クラブの近年の動きを紹介された。

甲府21クラブは近年（この数年間で）会員が急激に増加し、あずさ部の中で、人数的にも活動でも活発である。人数増加はサラリーマンの入会が増えていること、ハイスクールYMCA出身者が多いことなどがあげられる。

人を誘って入会させるまでのことを甲府21の例を引いて語られた。その具体例としては、

- ①友達を誘う。
- ②フリーペーパーを利用する。
- ③常にメールを送る。
- ④ワイズが楽しいことを強調する。
- ⑤ボランティア活動などを行っていることを中心に説明する。
- ⑥ロータリークラブなどと比較してワイズのほうが良いことを強調する。

YMCAとワイズの関係では、山梨YMCAと甲府、甲府21クラブの例を引いて、ワイズがYMCAの運営にもっと関わるべきではないかという意見を述べられた。

また、EMC主査の紹介の中で、東京などの大

都市は甲府などと違い、砂漠のようなところでは人間関係は薄く地域やコミュニティーへの関心が薄いことが、努力に関わらず EMC が困難である大きな原因ではないかという意見が出された。

例会閉会后に近くのサイゼリアで懇談の会をもった。12名が参加して交流を深めた。

(まとめ・飯島)

ヨルダン会(9月)

とき：9月26日14:30~16:00

ところ：華屋与兵衛

出席：浅羽、上妻、尾内、功能、中村、星住

6名

議事：

1、10月例会

日時：10月16日(火) 14:30~16:30 (昼間開催)

会場：早稲田奉仕園102号室

テーマ「今後の山手クラブを考える」

2次会を近くのサイゼリアで予定。

浅羽会長から、J-FUNユースの長屋会長による難民児童の学習支援に関するプレゼンを例会の前半30分で行う提案があった。(本件は長屋会長の日程の都合で延期となった。)

2、山手センター建物の耐震工事中は例会会場に早稲田奉仕園や東京YMCA本部事務所の会議室を借りるが、この機会に昼間の開催も試験的に実施してみることにする。

3、あずさ部大会

10月20日(土) 12:00-15:30

甲府市、岡島ローヤル会館8Fゴールドルーム

ホスト：甲府21

出席：浅羽、飯野、尾内、中村 4名

4、会員増強について

9月の山手・たんぽぽ合同例会でも、廣瀬あずさ部部長が「会員を一人増やせばクラブが変わる」と強調しておられた。山手クラブとしても、会友制や新クラブのことをみんなで話し合っていきたい。楽しいクラブであるためには、よい人間関係とよい仕事をしていることが大事、などの話がでた。

また、人を誘う時の困難の一因として、ワイズとキリスト教色の関係があるという話もでた。

5、会計報告(中村)

6、青鹿さんを囲む会を昼間に開催する件はまだ未定だが、まず10月例会へお誘いしてみる。

YMCAニュース

1. ユースボランティアリーダーズフォーラム

今年も9月7日から9日で、ユースボランティアリーダーズフォーラムが山中湖センターで実施されました。山手センターから2名のユースリーダーが参加をし、貴重な体験をさせていただきました。

2. 国際協力街頭募金

9月15日(土)は新宿での国際協力街頭募金を無事に開催することができました。雨に打たれつつの募金活動となりましたが、多くの皆様にご協力をいただき本当にありがとうございました。募金額は213,467円で、参加人数は196名でした。寄せられた募金はバングラデシュの子どもたちの教育支援に用います。

3. 第32回東京YMCAインターナショナル・チャリティーラン

障がいのある子どもたちを支援するチャリティーランが9月23日(日祝)、都立木場公園で開催されました。前日まで続いていた雨もあがり、まぶしい日差しと鮮やかな青空が広がる中で、およそ300人のランナーと伴走者が快走しました。レース前の「こどもラン」には幼児小学生450人とその保護者あわせ約700人が参加。沿道をうめた応援者、ボランティア・スタッフ約150人を合わせると来場者総数は1,500人を越え、今年もにぎやかな大会となりました。今年も山手、西、サンライズ、たんぽぽの各ワイズからのご支援により、リーダー有志で出場することができました。ご支援に感謝します。

4. 西日本豪雨災害リーダー派遣

10月27日の週末、西日本豪雨災害で被災した子どもたちのためのリフレッシュキャンプが広島で実施されます。山手センターからも5名のリーダーを派遣予定です。

5. 山手秋のバザー

今年は耐震補修工事のため、秋のバザーは残念ながら実施いたしません。

(星住秀一)

.....

参考 クラブ設立順に並べてみると

1960年代設立分まで。赤字は東日本区クラブ

- 1. 大阪クラブ 1928. 11. 10
- 2. 神戸クラブ 1930. 02. 17
- 3. 横浜クラブ 1930. 12. 15
- 4. 東京クラブ 1931. 02. 06
- 5. 金沢クラブ 1947. 07. 09
- 6. 名古屋クラブ 1947. 08. 27
- 7. 京都クラブ 1947. 11. 10
- 8. 広島クラブ 1948. 04. 15
- 9. 近江八幡クラブ 1948. 05. 17
- 10. 西宮クラブ 1948. 05. 17
- 11. 長崎クラブ 1948. 12. 08
- 12. 仙台クラブ 1948. 12. 08
- 13. 熊本クラブ 1949. 08. 18
- 14. 姫路クラブ 1949. 11. 16
- 15. 和歌山クラブ 1949. 12. 05
- 16. 甲府クラブ 1950. 06. 24
- 17. 奈良クラブ 1950. 09. 14
- 18. 大阪土佐堀クラブ 1951. 06. 24
- 19. 彦根クラブ 1952. 10. 13
- 20. 東京山手クラブ 1953. 09. 11
- 21. 札幌クラブ 1955. 11. 21
- 22. 大阪サウスクラブ 1956. 04. 07
- 23. 北九州クラブ 1956. 08. 13
- 24. 東京江東クラブ 1959. 10. 18
- 25. 東京むかでクラブ 1961. 05. 10
- 26. 神戸西クラブ 1961. 05. 14
- 27. 東京世田谷クラブ 1961. 06. 03
- 28. 大阪堺クラブ 1962. 05. 08
- 29. 前橋クラブ 1962. 10. 25
- 30. 熱海クラブ 1963. 12. 15
- 31. 岡山クラブ 1965. 05. 23
- 32. 沖縄那覇クラブ 1966. 11. 24
- 33. 名古屋東海クラブ 1967. 05. 21
- 34. 沼津クラブ 1967. 11. 12

(注) 沖縄の施政権返還・本土復帰は1972年(昭和47年)5月15日であった。

○今年では東京山手クラブのチャーター65周年に当たります。従来の例にならえば、秋には65周年の記念例会を計画するところでしたが、今年は、山手クラブ自体が会員減で守りの体制にあり、また、山手センターの建物の耐震工事もあって、記念例会計画はなく、静かな65周年になりました。

おたより 9月

<上妻英夫さん> 「神立(かんだち)やドイツ古ワイン妻とあけ」大荒れの夜、1979年製ドイツワイン、少し薄茶色になっていたが、甘味あり旨い。妻とおしゃべりを……

<飯野毅与志さん> 東京YMCA山中湖センターのユースリーダーズフォーラムに9月8日夕方から9日まで行ってきました。帰りは東京駅までバスに乗せてもらい、感謝しています。

<金本伸二郎さん> 家内の送り迎えがあり、欠席します。

<沖 利柯さん> 健次さんの追悼文有難うございました。健次さんの思いを繋いでいきます。

<戸坂昇子さん> ブリテンをお送りくださり感謝いたします。夏まつりの報告記事、そして、浅羽さんの鈴木健次さん追悼文など、拝読させていただきました。

○青鹿さんの近況

青鹿さんは8月-9月の暑さと疲労で数日の入院をされたとのこと。今は大丈夫になったが、ちょうど例会日は病院で検査とのこと。また声をかけてください、と言っておられました。

(浅羽)

編集の後に

○台風24号が列島を縦断して去った10月1日の朝、窓を開けると青空でした。無事で良かったとホッとして庭に出てみたら、大きな屋根の鉄板らしきものが2枚、庭に落ちていて、鉄板が当たった物干し竿が折れ曲がって鉄板と共に落ちていました。びっくりしましたが、ご近所の屋根からはがれて飛んできたものであることが分かりました。いかにすさまじい強風が吹いたかを、感じました。

